



## 「難しいなあ！」

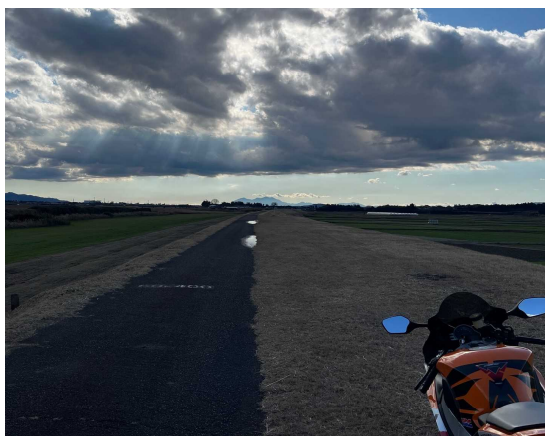
日ごろから、人と話すときには気を付けているつもりだが、自分が勝手にそうしている「つもり」になっていることがある。

何度が話したことがある人は、年齢の差があれども、どんな人なのかが分かるから大丈夫なのだが、あまり話したことの無い人とは、お話が伝わらないことがある。



(夜明け前の月 延岡市出北 2024.1.26)

あることを説明したときに、質問があった。あくまでたたき台ですと伝えたが、その「たたき台」という言葉が余計だったようだ。その言葉によって、相手により強く意見を言わせてしまった。相手にとっては嫌な印象を与えてしまったようだ。



(雲と光 都城市下水流町 2024.1.21)

何気に言った言葉が、相手の受け取り方次第でプラスにもマイナスにもなってしまう。コミュニケーションは本当に難しいものだ。



(寒い朝の空 延岡市緑ヶ丘 2024.1.24)

逆の場合もある。相手のお話を電話で受けた。内容は、批判的な内容であった。そこで、相手の言い分を丁寧に聞いて、直接自分自身で確認をしてから、その事実関係を把握した。

その二日後に、先方からどうだったかの確認の電話があった。自分が確認した結果を説明した。そして、「ご自分の目で、確かめられますか？」と聞いてみた。

そうしたら、「そこまでしなくても結構です」とのことだった。この件は、対応の仕方次第では、ちょっと面倒なことになるかなと思って対応した。最初の案件は、その辺に甘さがあったようだなあ！



(霧島連山 都城市下水流町 2024.1.21)